



# 平成30年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年9月6日

上場会社名 株式会社くらコーポレーション  
 コード番号 2695 URL <http://www.kura-corporo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一

TEL 072-493-6189

四半期報告書提出予定日 平成30年9月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年10月期第3四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年7月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第3四半期	97,991	7.6	5,205	21.2	5,816	17.0	3,762	12.5
29年10月期第3四半期	91,076	8.4	4,294	12.3	4,973	1.0	3,343	4.6

(注) 包括利益 30年10月期第3四半期 3,712百万円 (5.5%) 29年10月期第3四半期 3,517百万円 (13.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第3四半期	190.56	
29年10月期第3四半期	169.35	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第3四半期	57,462	37,850	65.7
29年10月期	52,745	34,724	65.7

(参考) 自己資本 30年10月期第3四半期 37,763百万円 29年10月期 34,635百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期		0.00		30.00	30.00
30年10月期		0.00			
30年10月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,950	3.4	6,810	7.4	7,300	0.2	4,910	0.5	248.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年10月期3Q	20,699,800 株	29年10月期	20,699,800 株
期末自己株式数	30年10月期3Q	956,720 株	29年10月期	956,720 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年10月期3Q	19,743,080 株	29年10月期3Q	19,743,080 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年11月1日から平成30年7月31日)におけるわが国経済は、世界経済の好調から企業収益が伸び、緩やかな景気回復基調となりました。

雇用・所得環境の改善により賃金の上昇がみられたものの、生鮮品の値上がりなどから節約志向は継続し、個人消費は盛り上がりにつけた推移となりました。

外食産業におきましては、競合他社の積極的な出店による影響に加え、労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇など、引き続き厳しい環境が続いております。

当社グループは、より新鮮でおいしく、安全なお食事をしていただけるよう、さまざまな取り組みをまいりました。平成30年7月には、創業以来41年間守り続けたシャリの味を、3種類の黒酢を加えコクのある風味豊かな「健康黒酢のシャリ」に進化させました。黒酢は熟成期間が長く、必須アミノ酸が多く含まれることから健康や美容に役立つとされています。お客様からも「味がやさしくなった」「素材の味がはっきりした」と高い評価をいただいております。今後とも、お客様に安心・安全・健康にお食事いただけるよう「見えないところを大切に」商品提供してまいります。

当第3四半期連結累計期間におきましても、お客様の満足度を高めるべくさまざまな商品提案を行いました。

平成30年7月には「夢のふわ雪(税抜250円)」を新発売しました。純度の高い氷を薄く削ることのできる最新のかき氷機を導入、ふわふわの雪のようにすっと溶ける口どけからネーミングした新食感のかき氷です。猛暑も追い風となり好調な販売となりました。

販売促進面では、人気寿司ネタの「熟成まぐろ」「うなぎ」「かに」の極上ネタをご提供するフェアを毎月実施いたしました。7月の「熟成まぐろVSうなぎフェア」におきましては、「熟成大とろ(税抜200円)」や「うな肝(税抜100円)」を発売し、お客様にご好評をいただきました。また、フェアに合わせて人気アニメ「ポケットモンスター」とタイアップし、オリジナルグッズが当たるキャンペーンを実施致しました。

店舗開発につきましては、国内において、西日本地区で8店舗、東日本地区で3店舗の計11店舗を新規出店いたしました。米国子会社「Kura Sushi USA, Inc.」におきましては、テキサス州に3店舗、カリフォルニア州に1店舗の計4店舗を出店し、米国において18店舗を運営しております。台湾子会社「台湾國際藏壽司股份有限公司」におきましては、台湾北部新竹市の大型ショッピングモールBig City内「新竹巨城店」など4店舗をオープンし、台湾におきまして13店舗を運営しております。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で447店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国18店舗、台湾13店舗を含む)となりました。

当第3四半期連結累計期間におきましても積極的な投資を継続いたしました。既存店舗の建て替え、設備更新など競争力強化のための投資を行いました。今後も引き続き良好な財務内容を背景として、快適な飲食環境を提供するため、国内外におきまして戦略的な投資を実行してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は979億91百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益52億5百万円(同21.2%増)、経常利益58億16百万円(同17.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億62百万円(同12.5%増)となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、574億62百万円となり、前連結会計年度末と比較して47億17百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が26億51百万円、売掛金が4億71百万円、原材料及び貯蔵品が3億17百万円、有形固定資産が10億63百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して15億91百万円増加し、196億11百万円となりました。これは、主に買掛金が9億67百万円、未払金が6億51百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が31億78百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して31億25百万円増加し、378億50百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月13日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,840,437	15,492,272
売掛金	796,389	1,267,737
原材料及び貯蔵品	722,181	1,039,888
その他	1,312,854	1,355,660
流動資産合計	15,671,862	19,155,559
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,048,329	18,042,433
その他(純額)	10,111,888	10,181,680
有形固定資産合計	27,160,217	28,224,114
無形固定資産	355,261	386,882
投資その他の資産		
長期貸付金	3,752,420	3,876,079
差入保証金	4,352,538	4,466,442
その他	1,453,087	1,353,324
投資その他の資産合計	9,558,046	9,695,846
固定資産合計	37,073,525	38,306,842
資産合計	52,745,387	57,462,402
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,536,461	5,504,238
短期借入金	117,344	76,332
未払金	4,308,638	4,960,042
未払法人税等	1,261,678	934,709
その他	2,652,779	2,724,661
流動負債合計	12,876,901	14,199,983
固定負債		
リース債務	2,998,397	3,151,772
資産除去債務	1,608,083	1,693,704
その他	537,006	566,023
固定負債合計	5,143,486	5,411,500
負債合計	18,020,388	19,611,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	32,543,626	35,721,627
自己株式	△2,353,421	△2,353,421
株主資本合計	34,529,918	37,707,919
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	105,551	55,659
その他の包括利益累計額合計	105,551	55,659
新株予約権	89,529	87,340
純資産合計	34,724,998	37,850,918
負債純資産合計	52,745,387	57,462,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
売上高	91,076,014	97,991,415
売上原価	41,908,855	44,665,073
売上総利益	49,167,158	53,326,341
販売費及び一般管理費	44,872,694	48,120,782
営業利益	4,294,464	5,205,558
営業外収益		
受取利息	46,154	44,556
受取手数料	273,132	314,879
為替差益	332,637	48,567
物販収入	74,941	134,810
収用補償金	—	114,584
雑収入	36,126	76,212
営業外収益合計	762,992	733,611
営業外費用		
支払利息	39,023	48,425
物販原価	35,944	62,224
雑損失	9,067	11,818
営業外費用合計	84,035	122,468
経常利益	4,973,422	5,816,701
特別利益		
固定資産売却益	—	4,719
特別利益合計	—	4,719
特別損失		
固定資産除却損	44,697	66,763
店舗閉鎖損失	—	25,275
減損損失	12,973	93,661
特別損失合計	57,671	185,700
税金等調整前四半期純利益	4,915,750	5,635,720
法人税、住民税及び事業税	1,498,775	1,800,037
法人税等調整額	73,509	73,445
法人税等合計	1,572,285	1,873,482
四半期純利益	3,343,465	3,762,237
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,343,465	3,762,237

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益	3,343,465	3,762,237
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	174,100	△49,892
その他の包括利益合計	174,100	△49,892
四半期包括利益	3,517,565	3,712,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,517,565	3,712,345
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号平成30年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を平成30年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(セグメント情報)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。